

明治・大正・昭和期の 建設工事写真シリーズ

法多山尊永寺庫裡「紫雲閣」(袋井市)^{くり} ※庫裡とは、お坊さんが日常生活する施設です。

昭和28年造



現在の紫雲閣

写真提供: 法多山尊永寺 住職 大谷 純應さん



上棟式記念写真(棟梁 前列右から3番目と大工衆・木挽職人ほか)



※大工の棟梁は袋井市宝野(豊沢)の名倉文雄さんで、当時「ぶんちゃあ」と呼ばれ親しまれていました。

「紫雲閣」は法話などのお寺の行事のほか、和カフェ、落語会、ライブなど様々なイベントの会場として利用されています。



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!

大募集!



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION
(一社)袋井建設業協会



鈴木俊光 袋井建設業協会会長



渡部修 磐田市市長

対談

渡部 磐田市市長 鈴木 袋井建設業協会会長

「財政の健全化」と「住みやすさを実感できるまちづくり」に邁進する渡部市長と「建設業の再生」に真摯に取り組む鈴木協会長との会談を1月29日(水)に実施しました。

今後のまちづくりについて

まず、どのような市を目指しておられるのか、今後の街づくり構想についてお聞かせ願います。

【市長】 就任以降、惨憺たる状態にあった市の財政の建て直しに積極的に取り組んできました。

その結果、借金は4年間で150億ほど減少し、削減するところはしっかりと削減し、投資するべきところには投資するといった流れができてきたと思っています。

こうした財政運営理念を堅持しつつ、来年度の予算は、市町村合併後では最高の規模になります。

街づくりについては、誰もが住んで良かったと実感できる磐田市の実現を基本理念に、社会基盤の整備にも力を注いでいます。具体的な取組としては、まず、スマートICと北部工業団地は、25年度中に工事に着手します。次に、鎌田地区の新駅については、順調に進めば26年度中にJ・Rと協定を結び、発表することができると思います。また、磐田駅前の整備はあと2年で完成する予定です。

そして、市民会館と小中学校33校の整備についてですが、特に学校は、建て替えに長い期間を要するので実現可能な計画をもって進めていくことが大切です。少し遠くも見ながら、進めていくような展望を持っています。

建設業の現状について

次に、協会の概要と、そして近年建設産業の疲弊が懸念されている中、地元の建設業界の現状を鈴木協会長からお話しして頂きます。

【会長】 最初に、当協会の概要ですが、建設業は仕事を通じて地域の安全・安心を守り、地域社会に貢献する産業でなければならぬと考えております。

会員は、こうした同じ志を持った建設業者60社で構成しています。

主な社会貢献活動であります。河川や道路の除草・清掃や献血運動、事故や災害を未然に防止するための危険箇所調査など様々な活動を行っています。

特に、災害関連では、復旧・復興に向けた災害協定や家畜伝染病に関する協定を国や県と締結しています。

また、昨年、県知事から「指定地方公共機関」に指定され、災害対応に重い責任を負うことになりました。

次に、建設業界の現状ですが、建設投資はこの20年で約半分は激減しております。それに伴って業者はピーク時から200万人近く減少しています。さらに、高齢化が急速に進行しており、若年労働者の確保が喫緊の課題となっております。

また、ダンピング受注の横行により収益性も落ちており、特に本県の売上経常利益率は東日本では最も低い状態にあります。

今、こうした状態に歯止めをかけなければ、建設産業の再生は困難になるため、国においては様々な対策を講じて頂いております。

例えば、実態と乖離していた設計労務単価を見直ししていただきました。

さらに、「公共工事の品質確保に関する法律」の改正が検討されており、この中で、中長期的な担い手の確保やダンピングの防止、発注者の責務の明確化などの基本理念が示されています。

我々は、こうした動きを見守り、期待して

いるだけではいけません。我々自身が再生に向けて一層努力し、行政に力を貸して頂きながら、若者が魅力を感じる事ができる建設業にしなければならぬと考えています。

【市長】 厳しい現状のお話については建設業界に限らず、どの業界にも言えることだと思います。

私は、建設業界は、大いなるパートナーであると考えていますが、率直に私の思いを申し上げると、業界の皆さんだからこそ持っている良い知恵を、提案という形で活かしていただきたい。現状は、苦しいがゆえにお願いごとが多くなっている気がします。

これは私からの提案ですが、従来自治会にお願いしていた河川の草刈りが、高齢化により行うことができなくなっています。この解消法を検討しているところですが、例えば、指定管理の建設業者版のようなことができないだろうかと思っています。

また近い将来、自治会へ一括した交付金をお渡しし、この中で、各自治会が地元建設業者に委託する方式ができないかと考えています。

災害時の戦力を考えた場合、その地域内の会社を維持して頂かなければなりません。これらについては、モデル地域を作って検証の上で波及させるといった段取りを検討しております。

また、本年度も公共事業白書を策定しますが、どのようにすれば公共物を守って頂けるのかを総力を挙げて考えなければならぬと思っています。

市の防災・減災対策について

防災・減災に対する取り組みが各自治体で行われていますが、磐田市の対策をお聞かせ下さい。

【市長】 市は、津波対策については、命山が良いのか、タワーが良いのか手段は様々ですが、磐田市では、一昨年11・8メートルという国の知見が出たため、避難タワーを建設しました。今年も引続き避難施設を整備する一方で、水とトイレを確保するため、マンホールトイレを13カ所設置するとともに、各学校の受水槽を活用できるように整備する予定です。

防潮堤については、県が整備するものですが、私は、国・県では防潮堤整備の予算措置は難しいのではないかと考えています。

市は、基金を設置し、それを基に県に着手してもらおうとしかできません。中東地区全域で一日でも早い着工を目指して汗をかいていくことが、今年目標になっていくと思います。

【副会長】 県では、災害発生直後の人命救助ルートを3日以内に確保するための検討が進められています。

これは、まず新東名・東名・国道一号の通行を確保し、次に新東名から150号までの南北幹線道路を、その後東西の幹線道路を開くというのですが、この重要な業務を建設業者が担うことになっています。

当協会は、県に協力し、路線ごとに担当を決めるなど具体的な対応を進めています。国・県だけでなく各市町ともいつでも情報交換できる場が必要であると思っています。

【市長】 例えば、原子力災害の避難についても、国は1日でできると思っていますが、実際ににはできないものです。役所もそれぞれ組織が違いますので、実際に工事に関わる所管部署が情報を得ていないといったことがありがちです。

【会長】 我々は、いざ災害が起きたとき、どの役所の指示に従ったらいのかという



●入札制度の実情を説明する鈴木和男副会長(左端)
●司会は、川島達也広報委員会委員長(右端)



掛川市連雀に掛川のいい所を沢山集め2012年11月にオープンした、パルスタイルのKAKEGAWA 1番地。ワイン樽のテーブルや、大型スクリーンに映る海外の町並みは、本場バルを連想させます。

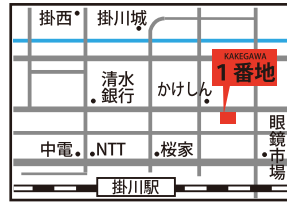


街の おすすめ ショッピング

KAKEGAWA 1 番地

〒436-0093 静岡県掛川市連雀4-5
TEL0537-24-3199
営業時間
月～木・日・祝日 17:00～23:00
金・土・祝前日 17:00～24:00

最大100名収容可能
結婚式二次会、三次会、歓送迎会、
同窓会等、オリジナルイベントも
ご相談ください。



掛川にいらした時には是非 KAKEGAWA 1 番地に行ってみてください。

1人の利用から大人数でのパーティー利用まで、様々なシーンで活躍すること間違いありません。

お料理は洋食が中心ですがもちろん和食もあり、ドリンクも焼酎・日本酒・カクテル・ワイン色々取り揃えており、男女問わず幅広い年齢から支持を集めています。



建設 STATION

掛川川根線防災・安全交付金(県道災害防除)工事(法面工)



工事概要	
工事名称	平成25年度(主) 掛川川根線防災・安全交付金(県道災害防除)工事(法面工)
工事場所	掛川市大和田地内
発注者	静岡県袋井土木事務所
施工会社	(株)藤本組 現場代理人・監理技術者:栗平慎也
工期	平成25年4月18日～ 平成26年1月15日
工事内容	補強土植生法枠 439m ² 鉄筋挿入工 167本 FRP製受圧板 167本 金網・ロープ設置 990m ² 機械播種施工による植生工 270m ²



リフティング装置
バランスブレード



アンカー設置



工事の感想

今回の工事は、(主)掛川川根線(掛川市大和田地内)の法面地山補強と、落石防止網を設置する工事です。工事を進めるうえで問題点は、
①作業場所が狭く施工ヤードの確保が困難
②当該道路を規制して実施する必要がある
③施工時期が7月の高温期で、労働環境が厳しい時期であり、また、夏休みの季節で、川遊び・キャンプ等の観光客が増えて道路の通行量が多かったです。当初設計は、法面を人力で切崩し、道路上に配置したバックホウで掘削・積込を行う予定でしたが、「工事規制期間及び一般車両の待機時間を短くする」、「人が法面で作業するので、滑落や受傷のリスクを減らす」作業方法がないかと社内で検討しました。その結果「高所法面掘削機による掘削工法」で対応出来る事が分かり、発注者に施工方法を提案し、実施することになりました。(静岡県新技術・新工法 NETIS登録番号KT-010076)一般的に土工事は、バックホウやブルドーザー等がイメージされ、尚且つ平坦な場所での作業が通常です。また、作業効率を上げるためには大きな建設機械を使用しますが、今回の現場のような狭い作業場所には不向きです。

そこで登場するのが、「高所法面掘削機(ロッククライミングマシン)」という機械です。従来のバックホウにウィンチを搭載し、ワイヤーロープで本機を支え、走行装置の改良、バランスブレードの装備で斜面に張り付くようにしています。斜面に対して機械旋回台(動力部・運転席)を水平に保つリフティング装置によって斜面の作業を行えます。崩落、落石の予測される現場では、遠隔操作によるラジコン運転作業の機械もあります。斜面上部の生立木の根株にアンカーを設置し、ワイヤーロープを取り、左右の主ウィンチにワイヤーロープを巻き取り、巻き戻すことにより機体を上下させる構造となっています。左右の移動は、左右の主ウィンチの巻き取り巻き戻しを操作することにより移動ができ、法面(急斜面)に特化したバックホウです。この新工法を採用したことにより、作業の問題が解消され、工事を安全に進めることができました。新技術・新工法が多く開発・登録されています。工事の種類や特性を把握することで、従来の方法より、更に効率的な作業方法が見つかるかもしれません。皆さんも積極的に採用してはいかがでしょうか。

高天神城址



武田・徳川の戦い

「高天神を制するものは遠州を制する」と言われた高天神城は、標高132メートルの鶴翁山を中心に、放射線状に延びるいくつもの尾根を巧みに活かした山城です。ここを舞台に武田軍と徳川軍による激しい争奪戦が繰り広げられた場所としても有名です。昭和五十年には、国指定史跡に指定されました。



当時の城主、小笠原長忠は、徳川家康方だったので高天神城は、徳川方の城となりました。元龜二年(九五七)武田信玄による遠江への侵攻が始まり、高天神城は、二万

五千ともいわれる軍に囲まれましたが、死守し武田軍を退去させました。これにより、難攻不落の名城としてその名を世に轟かせました。しかし三年後に、武田軍が再び攻めてくると守り抜くことが出来ず、武田軍の城となつてしまいました。その後、徳川軍が奪還のため高天神城を取り囲むように砦を築き、激しい攻防の末落城させました。そして家康は城のすべてを焼き払い、高天神城は廃城となりました。

兵どもが夢の跡

中東遠の城跡を訪ねる

中東遠地域には、戦国時代に「今川」「武田」「徳川」の領地争いが盛んだったこともあり、戦略的に重要な城がたくさんありました。今回から、これらの主な城跡を紹介していきます。第一回は、掛川市(旧大東町)にある高天神城を紹介していきます。

協会活動報告

平成25年11月
～平成26年2月

理事会報告

- 11/28(木) 第5回理事会
 - 建設協会長表彰候補者の推薦について
 - 「新年のごいご」の開催について
 - 県建設業協会理事会等の結果(報告)
 - 袋井建設業協会活動(報告) ほか
- 1/31(金) 第6回理事会
 - 平成26年度予算編成方針及び予算案(叩き台)
 - 会員研修の実施について
 - 安全祈願祭の実施について
 - NPO部会(NPO法人つちおと)の社会貢献活動に係る草刈機替刃の配布
 - 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練への参加について
 - 袋井建設業協会及び県協会等の役員・委員の選任について
 - 県建設業協会理事会等の結果(報告)
 - 袋井建設業協会活動(報告) ほか

委員会等報告

- 正副会長会議・総務委員会
 - 11/28(木)
 - 平成25年度第5回理事会上程議案 1/31(金)
 - 平成25年度第6回理事会上程議案
- 労務委員会
 - 12/4(水) 1/16(木)
- 磐田農高生建設現場見学会事前打合せ会

2/6(木)

●磐田農高生建設現場見学会
環境科学科生徒19人
建設現場2箇所

安全委員会

- 11/11(月)
 - 第1回安全委員会リーダー会議
 - 年末官民合同安全パトロールの打合せ
- 11/27(水)
 - 第5回安全委員会
 - 年末官民合同安全パトロールの最終打合せ
- 12/6(金)
 - 年末官民合同安全パトロール(4班・建設現場9箇所)
 - 参加行政機関：
 - 磐田労働基準監督署 袋井土木事務所
 - 中遠農林事務所・企業局西部事務所



広報委員会

- 11/20(水) 会報第129号校正
- 12/1(日) 会報第129号発行
- 12/18(水) 会報第130号編集計画
- 1/21(火) 会報第130号編集会議
- 1/29(水) 磐田市長と会長との対談(つちおと取材)
- 2/18(火) 会報第130号編集

技術委員会

- 11/21(木) 中遠農林事務所幹部職員と協会役員との意見交換会の開催
- 1/31(金) 袋井土木事務所幹部職員と協会役員との意見交換会の開催

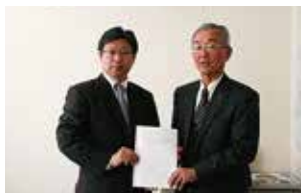


IT対策部会

- 10/31(木) 11/1(金)
- 技術継承情報管理研修(出雲大社)
- 12/10(火)
 - 第7回IT対策部会
 - 25年度事業中間報告及び26年度事業執行方針
- 1/28(火) 第8回IT対策部会
- 平成26年度事業計画

環境・災害対策委員会

- 12/13(金)
 - 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練
- 11/5(6) 打合せ会参加
- 12/16(月) 「災害時におけるリース・レンタル資機材の供給等の支援に関する協定」の締結：株アクティオ



1/22(水)・23(木)

「大規模災害発生時の情報伝達マニュアル」(袋井土木事務所)の策定に係る打合せ

2/12(水) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練打合せ会参加

その他の行事

- 11/28(木) 親睦ゴルフコンペ(富城ゴルフ倶楽部)
- 1/9(木) 「新年のごいご」の開催



各種研修会・講習会

- 2/5(水) 監理技術者TV講習会

表彰

受賞おめでとうございます。
建設雇用改善優良事業所表彰
 知事褒賞 岡野建設(株)



監理技術者TV講習会



知事褒賞授賞式

袋井建協の活動にふれて思う事

道路工事で渋滞をしていると「ついでない」とか「イライラする」とか、そんな風に思う方が多いのではないのでしょうか。しかし、工事が終わって、新しい道が通じ、こんなに便利になった。家に帰るのが早くなった。などと感じた方もきっと沢山いらっしゃると思います。

袋井建設業協会では、地域の皆さんの安心・安全を守ること。そして、地域の方々に建設業の大切さをわかって頂くことを目的に活動を行っています。除草・道路清掃のボランティアをはじめ、親子現場見学会などの活動のほか、各社が様々な工夫をこらした活動をしています。

先日、磐田農業高校の生徒さんを対象にした現場見学会が行われました。「美登里土地区画整理二国道一号宇刈川高架橋耐震補強」の現場を見学しました。生徒さんからは、「貴重な体験ができてよかった」「普段見ることができない現場に入ることができて勉強になった」などの感想を頂き、将来の建設業を担う若い力に期待できると感じた一日となりました。



現場見学会の様子



一昨年、東日本大震災という大きな不幸がこの国を襲いました。沢山の人が亡くなり、家を無くし、被災地では現在も仮設住宅で暮らす方々がいます。私たちの住む静岡県でも、南海トラフを震源とした巨大地震が想定されています。しかし、私たちはここで生きていかなければならないのです。

建設業はこの国に欠かすことのできない産業です。東日本大震災、阪神・淡路大震災からの復旧、復興にも建設業は大きな役割を果たしました。風雨や寒さから身を守る仮設住宅や新たな住居、拠点となる行政施設に至るまで、艱難辛苦を乗り越え、建設業に従事する方々自身も被災しながら造り上げていったのです。

政治家やマスコミが、建設業の震災時の働きについて、「貢献した」と言いますが、その働きは、生きていくということ、「生そのものに直結することです。これから予想される災害に対する備えの為に、建設業が皆さんの支えとなりながら、生活の一部として寄り添っていきける力強い仲間であることを忘れずにいて頂きたいと思えます。

(建通新聞 根岸記者)

ブレイクタイム



奇跡の一本松

この三月二十二日、二十四日で、東日本大震災の被災地へ約十五カ月ぶりに訪れた。

目的は、陸前高田市の鳥羽市長に昨年八月に掛川市で講演をして頂いた御礼、掛川市長、掛川商工会議所会頭よりお預かりをした親書のお届け、そして、昨年集まった義援金を手渡す事の三つであった。

陸前高田市との交流は、久保田副市長が掛川市出であるという縁が始まりであった。

陸前高田市は、訪問させて頂くと、鳥羽市長、久保田副市長はじめ、皆さんがいつも満面の笑みで迎えてくれる。あの津波で奥様を亡くされた市長の明るい笑顔には、毎回、胸に刺さる熱いものを感

じる。



前回訪れた際には、まだまだ何もない状況だったが、今回訪れてみるといよいよ土木工事が始まったという感想を持った。

目の前をひっきりなしに通る車の約半分は、土砂を満載にしたダンプだった。

高台から土砂を運搬する為に作られた巨大なベルトコンベアは、一日でダンプ四千台分の量を運べ、工期を大幅に短縮できるという。

プレハブの市庁舎にて働く職員の方々は、皆、明るく誰にでも挨拶をしてくれる。

今、復興工事は、多くの人の悲しみ、苦しさを飲み込みながら確実に進んでいる事を感じた。

陸前高田市の皆さんの笑顔に触れ、本当にうれしかった。

『がんばれ東北ーがんばれ日本ー』思わず、声に出して叫んでいた。

(K・T)



ベルトコンベア専用つり橋「希望のかけ橋



メッセージを届けました



安全の道しるべ

平成25年度官民合同パトロール実施しました

- | | | | |
|------|---------------|------------------|-----|
| ■実施日 | 平成25年12月6日(金) | ■実施箇所 | 9箇所 |
| ■参加者 | 29名 | 磐田労働基準監督署 | 4名 |
| | | 袋井土木事務所 | 2名 |
| | | 中遠農林事務所 | 2名 |
| | | 企業局西部事務所 | 1名 |
| | | 袋井建設業協会(建災防袋井分会) | 20名 |



これいいね!



重機との接触対策として、現場での教育訓練の写真を作業エリアに掲示し、作業員に周知している。



手すり・中棧付き法面通路が設置されていて良い。



現場事務所にハザードマップを掲示し、作業員に周知している。



転落防止柵は単管パイプにて2段組み(高さ90cm)。また、立入禁止、作業区域、作業通路、路肩注意等の標示も十分設置されていて安全意識が行き届いていた。

すぐ直そう!



法面通路の手摺りが2段設置されていないため、中棧の設置改善を指示しました。
安衛則 第552条架設通路
(高さ85cm以上、高さ35cm以上50cm以下に中棧設置)



路肩明示や転落防止対策を強化し、注意看板等の設置を行いましょう。

安全指導者からのコメント

転落防止柵や仮設通路の一部改善の必要なところもありましたが、総合的に掲示物・看板の設置・整理整頓・作業区域の区画は良好であり、第三者に対する安全管理はハザードマップ等も含めて各現場毎の工夫がなされていました。今回の現場巡視での指示事項は早急に対応していただき、それぞれの現場で工夫された安全対策を社内で水平展開することで、無事故無災害の作業を実施して下さい。

建災防静岡県支部主催 **作業主任者技能講習会** 袋井分会会場(袋井建設業会館)

安全関係教育

作業主任者技能講習科目	型枠	地山土止	足場
開催日	6月4日~5日	6月10日~12日	6月17日~18日
受講条件	該当の作業に平成26年3月末時点で3年以上の経験のある21歳以上の人		
受講要項配布	4月1日より協会窓口配布及び袋井建設業協会HP掲載		
申込用紙の配布	平成26年4月10日(木)開始 協会窓口で受講希望者に配布。 但し、郵送希望の場合は、所定用紙(袋井建協HP掲載)により事務局に依頼のこと。		
受付期間	平成26年5月20日(火)~5月28日(水) ※定員になり次第締切		

■刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育

開催日 4月24日(木)
会場 袋井建設業会館
受付期間 4月1日~4月16日

■建設業等における作業員のための熱中症予防教育

開催日 5月15日(木)
会場 袋井建設業会館
受付期間 4月1日~5月7日

お問い合わせ先 袋井建設業協会 TEL 0538-42-4338 URL <http://www.fukuroi-kenkyo.or.jp/top.html>

つちおとはインターネット上でご覧いただけます。
袋井建設業協会サイトのトップページ(<http://www.fukuroi-kenkyo.or.jp/top.html>)左メニューの「広報誌 つちおと」をクリックしてください。

つちおとは、再生紙を使用しています。